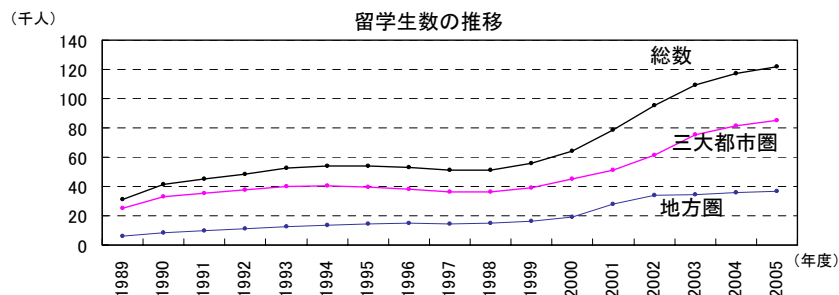
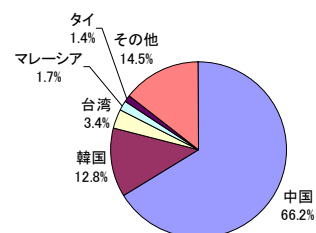


指標：外国人留学生数

近年、留学生数の増加が三大都市圏以外でも著しい。留学生の出身国は中国が60%以上。青森県、岐阜県、香川県、山口県では大学生数は減少しているものの、留学生数の増加率が高い。また、県内大学生数に対する留学生割合をみると、大分県は大学生100人中17人が留学生で国内最大となっている。



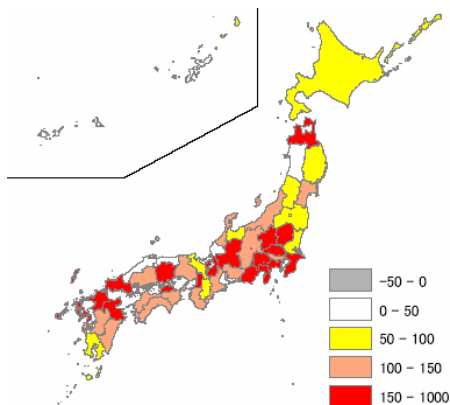
留学生の出身国内訳 (2005年)



留学生数増加率 (1998年→2004年)

留学生数伸び率 (%)

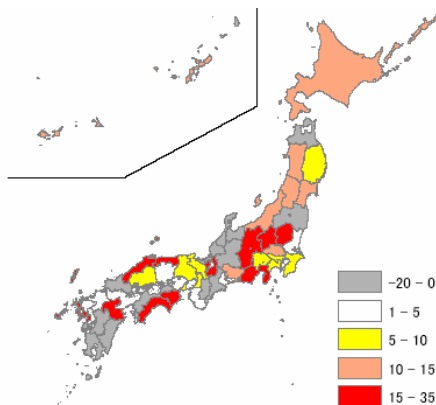
: $(2004年 - 1998年) / (1998年) \times 100$



大学生数増加率 (1998年→2004年)

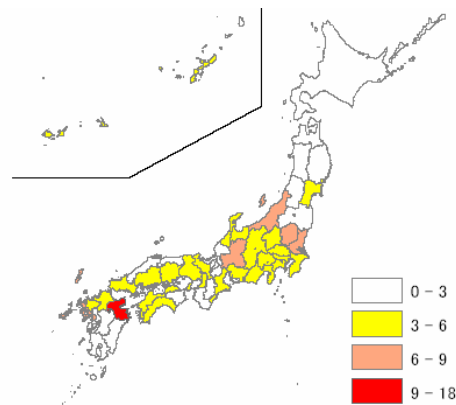
大学生数伸び率 (%)

: $(2004年 - 1998年) / (1998年) \times 100$



県内大学生数に対する留学生数割合 (2004年)

留学生数 / 大学生数 $\times 100$ (%)



(注) 三大都市圏: 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県。

(出典) 文部科学省「留学生受入の概況」、「学校基本調査」より 国土交通省国土計画局作成。